



## 平成 23 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 1 月 27 日

上場会社名 株式会社コメリ

上場取引所 東

コード番号 8218 URL <http://www.komeri.bit.or.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 捧 雄一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 常務執行役員 (氏名) 板垣 隆義 (TEL) 025(371)4111  
経営企画室ゼネラルマネジャー

四半期報告書提出予定日 平成 23 年 2 月 14 日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 23 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 3 月期第 3 四半期	229,454	3.1	14,350	0.8	14,009	1.9	7,330	△7.5
22 年 3 月期第 3 四半期	222,613	2.6	14,231	10.0	13,753	8.1	7,923	13.0

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23 年 3 月期第 3 四半期	143	77	-	-
22 年 3 月期第 3 四半期	154	98	-	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23 年 3 月期第 3 四半期	245,133		110,081		44.9	2,165	75	
22 年 3 月期	239,832		105,128		43.8	2,058	10	

(参考) 自己資本 23 年 3 月期第 3 四半期 110,081 百万円 22 年 3 月期 105,128 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22 年 3 月期	-	17.00	-	17.00	34.00	
23 年 3 月期	-	17.00				
23 年 3 月期(予想)			-	17.00	34.00	

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

### 3. 平成 23 年 3 月期の連結業績予想 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	296,000	3.7	15,300	1.5	14,700	1.9	6,100	△5.6	119	73

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有  
② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年3月期3Q	54,409,168株	22年3月期	54,409,168株
23年3月期3Q	3,581,034株	22年3月期	3,328,752株
23年3月期3Q	50,988,401株	22年3月期3Q	51,123,998株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第3四半期連結累計期間)	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	8
商品部門別売上状況 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の企業に収益改善の兆しがみられるものの、本格的な景気回復には至らない状況が続いております。流通小売業界におきましても、長引くデフレ環境における商品単価の下落や、業種・業態の垣根を越えた競争状態など、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、デフレによる商品単価の下落や、天候不順による春物及び秋物商材の販売不振の影響はありましたが、店舗改装による品揃えの見直しや、7月に実施した「1,000店舗達成記念セール」及び12月の「年末セール」が奏功し、既存店における売上高、客数、客単価とも、前年実績を上回ることが出来ました。

当第3四半期連結累計期間における新規出店につきましては、4月に長崎県時津町、12月に福井県坂井市及び越前市にパワー（以下、「PW」）をそれぞれ出店いたしました。また、ハードアンドグリーン（以下、「HG」）は、17県に29店舗を出店いたしました。閉店に関しましては、8月に「HG」1店舗を閉店いたしました。なお、7月に魚津店（富山県魚津市）、10月に坂出店（香川県坂出市）の全面改装をおこない、ホームセンター（以下、「HC」）から「PW」に業態変更をおこないましたので、当第3四半期末における店舗数は、「PW」17店舗、「HC」125店舗、「HG」875店舗、合計で1,017店舗となりました。九州におきましては、長崎県のPW時津店をはじめ、「HG」13店舗を新たに新出店し、同地区の更なるドミナント化に努めてまいりました。

商品荒利に関しましては、調達の見直しによる商品値入率の改善やPB商品の販売拡大により、ホームセンター部門における商品荒利益率は、前年同期比で0.6%の改善となりました。また、費用に関しましては、新たなカード事業の立上げ及び自社運営のクレジットカードへの切替費用として、約10億円を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は、2,294億54百万円（前年同期比103.1%）に、営業利益は、143億50百万円（同100.8%）に、経常利益は、140億9百万円（同101.9%）となりました。なお、当第1四半期連結会計期間より、資産除去債務に関する会計基準を適用したことにより、10億53百万円の特別損失を計上しております。これにより四半期純利益は、73億30百万円（同92.5%）となりました。

#### （商品部門別の状況）

##### ① 金物・資材・建材

「金物・資材・建材」分野は、夏の記録的な暑さの影響により、外資材の販売は苦戦いたしました。リフォーム需要の高まり等により、金物・工具や作業衣料・作業用品を中心に売上高は好調に推移いたしました。その結果、「金物・資材・建材」分野の売上高は、639億92百万円（前年同期比104.5%）となりました。

##### ② 園芸・農業用品

「園芸・農業用品」分野は、春先の低温や夏の記録的な暑さの影響により、肥料・農薬や園芸用品の販売は苦戦いたしました。農業資材及びグリーンの売上高は好調に推移いたしました。その結果、「園芸・農業用品」分野の売上高は、524億9百万円（同102.6%）となりました。

##### ③ 家庭用品

「家庭用品」分野は、品揃えの拡充や、7月に実施した「1,000店舗達成記念セール」及び12月の「年末セール」が奏功し、売上高は好調に推移いたしました。その結果、「家庭用品」分野の売上高は、587億25百万円（同104.9%）となりました。

##### ④ オフィス・レジャー用品

「オフィス・レジャー用品」分野は、主力商品であるペット用品の売上高が低迷し、この分野全体の売上高の伸びに影響を与えました。その結果、「オフィス・レジャー用品」分野の売上高は、330億43百万円（同100.3%）となりました。

##### ⑤ 灯油他

「灯油他」分野は、灯油の単価上昇の影響により、灯油の売上高は前年実績を大きく上回りました。その結果、「灯油他」分野の売上高は、101億31百万円（同114.2%）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ53億1百万円増加し、2,451億33百万円となりました。これは、商品が55億49百万円減少した一方、カード事業の自社運営に伴い、受取手形及び売掛金が19億54百万円、預け金（流動資産その他）が17億53百万円、有形固定資産が34億46百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億49百万円増加して、1,350億52百万円となりました。これは、短期借入金92億80百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が43億88百万円、設備投資による未払金などにより流動負債その他が40億8百万円、資産除去債務が26億50百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ49億52百万円増加して、1,100億81百万円となりました。主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ28億23百万円増加し102億34百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、233億76百万円（前年同期比17.0%減）となりました。主に税金等調整前四半期純利益 128億5百万円、減価償却費 84億20百万円、たな卸資産の減少額 55億33百万円などの計上があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、74億34百万円（同13.2%増）となりました。主に有形固定資産及び無形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、131億18百万円（同30.4%減）となりました。主に長期借入れによる収入が30億円あった一方、短期借入金の減少額 92億80百万円、長期借入金の返済による支出 23億20百万円、リース債務の返済による支出 23億19百万円あったことによるものであります。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期における通期の業績予想につきましては、当第3四半期までの状況、並びに第4四半期の経営環境等を勘案いたしまして、平成22年4月27日に発表の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成23年1月27日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他の情報

### （1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### （2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### （3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益は、それぞれ91百万円減少しており、税金等調整前四半期純利益は、11億44百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は、24億88百万円でありま

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,476	7,671
受取手形及び売掛金	5,215	3,260
商品及び製品	78,118	83,667
原材料及び貯蔵品	103	87
繰延税金資産	1,188	1,575
その他	5,990	4,333
貸倒引当金	△31	△30
流動資産合計	101,061	100,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	83,892	81,148
土地	24,266	23,928
リース資産(純額)	8,666	9,652
その他(純額)	6,501	5,150
有形固定資産合計	123,326	119,879
無形固定資産		
	6,058	5,404
投資その他の資産		
投資有価証券	355	399
繰延税金資産	4,835	3,673
敷金及び保証金	7,630	7,949
その他	1,901	2,002
貸倒引当金	△36	△42
投資その他の資産合計	14,687	13,981
固定資産合計	144,072	139,265
資産合計	245,133	239,832
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,470	41,082
短期借入金	44,930	54,210
1年内返済予定の長期借入金	4,695	4,212
リース債務	2,725	2,892
未払法人税等	2,940	3,302
賞与引当金	822	1,757
役員賞与引当金	43	62
店舗閉鎖損失引当金	17	29
ポイント引当金	456	552
その他	11,673	7,664
流動負債合計	113,776	115,767

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	3,998	3,802
リース債務	6,843	7,656
退職給付引当金	4,448	3,974
役員退職慰労引当金	1,026	1,020
資産除去債務	2,650	—
その他	2,308	2,482
固定負債合計	21,276	18,935
<b>負債合計</b>	135,052	134,703
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	18,802	18,802
資本剰余金	25,260	25,260
利益剰余金	75,161	69,565
自己株式	△8,716	△8,249
株主資本合計	110,506	105,377
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	△11	14
繰延ヘッジ損益	△414	△263
評価・換算差額等合計	△425	△249
<b>純資産合計</b>	110,081	105,128
<b>負債純資産合計</b>	245,133	239,832

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	215,234	222,323
売上原価	150,012	153,691
売上総利益	65,221	68,632
営業収入	7,379	7,131
営業総利益	72,601	75,763
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	43	—
給料及び手当	18,878	19,605
賞与引当金繰入額	744	822
役員賞与引当金繰入額	46	43
役員退職慰労引当金繰入額	38	12
その他	38,617	40,928
販売費及び一般管理費合計	58,369	61,412
営業利益	14,231	14,350
営業外収益		
受取利息	36	38
為替差益	116	97
その他	220	175
営業外収益合計	373	312
営業外費用		
支払利息	779	636
その他	71	16
営業外費用合計	851	653
経常利益	13,753	14,009
特別利益		
収用補償金	56	56
その他	1	12
特別利益合計	57	68
特別損失		
減損損失	35	1
災害による損失	3	—
固定資産処分損	106	208
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,053
その他	62	8
特別損失合計	207	1,272
税金等調整前四半期純利益	13,602	12,805
法人税、住民税及び事業税	5,412	6,210
法人税等調整額	267	△735
法人税等合計	5,679	5,475
少数株主損益調整前四半期純利益	—	7,330
四半期純利益	7,923	7,330

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	13,602	12,805
減価償却費	8,494	8,420
減損損失	35	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,053
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△931	△935
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	354	473
支払利息	779	636
売上債権の増減額 (△は増加)	△108	△1,954
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,652	5,533
前払費用の増減額 (△は増加)	△182	△220
未収入金の増減額 (△は増加)	1,578	534
預け金の増減額 (△は増加)	—	△1,753
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,156	4,388
未払金の増減額 (△は減少)	343	848
未払消費税等の増減額 (△は減少)	960	404
その他	474	341
小計	34,212	30,577
利息及び配当金の受取額	44	47
利息の支払額	△744	△634
災害損失の支払額	△3	—
法人税等の支払額	△5,343	△6,613
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,165	23,376
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,497	△6,462
有形固定資産の売却による収入	2	—
無形固定資産の取得による支出	△239	△1,042
その他	167	70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,567	△7,434
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△11,750	△9,280
長期借入れによる収入	—	3,000
長期借入金の返済による支出	△2,665	△2,320
リース債務の返済による支出	△2,362	△2,319
自己株式の取得による支出	△325	△467
配当金の支払額	△1,736	△1,730
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,840	△13,118
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,757	2,823
現金及び現金同等物の期首残高	8,038	7,410
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,796	10,234

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

商品部門別売上状況

(単位：百万円、%)

部門別	前第3四半期 連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		前年 同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
金物・資材・建材	61,215	27.5	63,992	27.9	104.5
園芸・農業用品	51,106	23.0	52,409	22.8	102.6
家庭用品	55,956	25.1	58,725	25.6	104.9
オフィス・レジャー用品	32,930	14.8	33,043	14.4	100.3
灯油他	8,873	4.0	10,131	4.4	114.2
ホームセンター部門計	210,082	94.4	218,302	95.1	103.9
その他	5,151	2.3	4,021	1.8	78.1
売上高合計	215,234	96.7	222,323	96.9	103.3
営業収入	7,379	3.3	7,131	3.1	96.6
営業収益	222,613	100.0	229,454	100.0	103.1

(注) 1. 商品別の各構成内容は次のとおりであります。

金物・資材・建材 (建築金物、資材・建具、工具、ペイント・内装、作業衣料等)  
 園芸・農業用品 (園芸・農具、植物等)  
 家庭用品 (日用品・家庭用品、電気製品、インテリア、服飾雑貨等)  
 オフィス・レジャー用品 (オフィス用品、家具収納、スポーツ・レジャー、文具・玩具、ペット、カー用品等)  
 灯油他 (燃料等)

2. 当第1四半期連結累計期間からホームセンター部門の商品区分を一部変更したため、前年同期比較にあたっては、前第3四半期連結累計期間分を変更後の区分に組替えて表示しております。